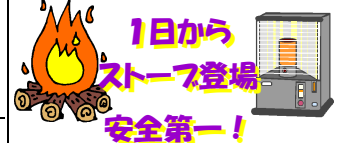


# チーム えがお



【学校教育目標：自ら学び 心優しく たくましく生きる児童の育成】  
「かしこく」自ら学ぶ子 「やさしく」心豊かな子 「たくましく」やりぬく子

発行者：校長 岡田 達也

～ 図が お かが やき 図んばる 学校 図う えんだん 「チーム北川」～



## 夢がふくらむ 「読書」の効果はすごい!

先週(11月28日～12月2日), 図書委員会主催の「読書週間」を開催しました。その内容とは、①読書クイズ、②おすすめの本紹介、③先生による読み聞かせ、④図書委員による読み聞かせ、などです。

本校では、毎週水曜日に朝読書を行っています。既にご紹介しているように、11月から地域ボランティアの方による読み聞かせを低・中学年でやっているところ。子どもの生きる力や言語能力を育むために読書活動が大切であることから、全国的に様々な取組がされており、中でも「朝の読書」は小・中・高等学校の約7割で実践されていると言われています。子どもたちの読書への関心を高め、教育効果を上げる読書の効果とは……。

脳科学からみると、読書は総合的かつ抽象的な刺激とのこと。視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚という五感の記憶が総合されて、それが言葉になるので、言葉を通して世界を知ったり、整理したりするというのは、脳の一番高度な働きだそうです。読書は、言葉を通して想像力を育んだり、本の中の世界に思いをはせたりするため、抽象的な思考・能力を高めるのにとっても効果的と言われています。

また、本を読んで何かに感動したり、興味・関心をもったりする読書体験を重ねて、その感動や興味・関心をもっと深まると、読書に関する回路が強化されます。その結果、論理的思考やコミュニケーション能力が高くなるそうです。

具体的には、こんな効果が期待できると考えられています!

### ☆語彙力がつき、言語能力・コミュニケーション能力が発達する

本には、たくさんの「言葉」やそのいろいろな使い方がいっぱい詰まっています。

### ☆幅広い知識が身につく

今まで知らなかったたくさんのことを学び、もの知りになります。

### ☆思考力・想像力が育つ

筋道を立てて論理的に考えたり、言葉を手がかりに頭の中で思い描いたりできます。

### ☆集中力が育つ

最後までじっくりと本の世界に浸ることができます。

### ☆豊かな心が育つ

本の世界を通して登場人物の気持ちを考えたり、豊かな感性を育んだりすることができます。

### ☆気分転換ができる

自分の好きな本の世界に浸ることで、気持ちをリフレッシュすることができます。

本校の先生たちも、子どもたちのために読み聞かせに挑戦しました。日頃から学校司書の先生の読み聞かせを楽しみにしている子どもたちは、先生たちの読み聞かせに集中して聞き入っていました。読み聞かせの時間は、なんとも温かく、心地よいひとときを過ごすことができます。

ご家庭でも、お子さんと一緒に本の世界に浸ってみてはいかがでしょうか。これからも、学校では毎週水曜日の朝読書の時間、週1回の図書の時間を大切に、読書好きの子どもたちを育てていきたいと考えています。

